

鹿児島空港将来ビジョン（案）に対する御意見等の概要及びそれに対する県の考え方等

No.	1
御意見等の関係箇所	P11～12 第4章(3)②(ウ)他空港との差別化に向けた取組
御意見等の概要	<p>自然豊かな鹿児島は世界に通用する食材がたくさんあり、観光資源としても大変重要な位置づけにある。</p> <p>現状の鹿児島空港においては、食の観光資源について、魅力ある展示や、実際に食したり、食べ方の提案などが積極的に行われておらず、その場における感動が少なく思える。</p> <p>鹿児島空港は、「非日常」を味わうことができ、居心地の良いデザイン・雰囲気とにぎわいの創出が望まれ、更には地元の方々も誇りに思える存在になるべき。</p> <p>鹿児島にとっては、観光資源として大きな役割を果たす食が最も訴求すべきポイントではないか。</p>
県の考え方等	<p>いただいた御意見の趣旨については、「帰省・帰国した観光客に対して鹿児島県の特産品や観光資源を深く印象づけ、リピーター化やインフルエンサー化を促進するための方策について検討」、「旅慣れたビジネスマンや観光客、富裕層等が、『非日常』を味わうことができる、サービス提供のあり方や、デザインの導入、雰囲気の創出について検討」と記載しているところです。</p> <p>今後、ビジョンの実現に向けて、ターミナルビルを所有する空港ビル会社をはじめとする関係者と連携しながら、具体的な検討を進めてまいりたいと考えております。</p>